

農場通信 2026年 2月号

2026/1/27

トヨタネ研究農場の「今」をお知らせ！ 園場の写真と、環境データ・管理方法も合わせてご覧ください！

①園場 ハウス ②試験内容

③開始日 ④終了予定

①第4 A ②大玉トマト短期品種比較試験(2作) ③2026/1/17 ④2026/6月

品目	園場写真①	園場写真②
栽培中 栽培準備中 今月最終		
直近の環境データ・管理方法(晴天日)		
※特に表記のないものは 設定と実測の温度を示しています		

大玉トマト年内作		
大玉トマトの品種比較栽培を行っているハウスです。1作目は栽培終了し、現在2作目を栽培しています。 定植日は1月17日。品種比較試験以外にも栽培試験も行っています。現在は1段目が開花し、調査を随時行っています。温度管理は日中24度程度で少し高めに設定しています。		

①第4 B ②ミニトマト品種比較試験

③2025/7/28 ④2026/6月末

ミニトマト		
【1/22 環境状況】 — 温度 — 冷却設定値 — 暖房設定値 — 鮎差 		

7月4日に播種、7/28定植。
今作も20品種の比較試験を行います。
高温、短節間、食味、玉肥大の4テーマで栽培。
給液EC2.6、給液量1400ml/株で管理。
12-18段目を収穫中。現在18-22段目が開花しています。果実の着色がまだらのため葉かきを多くして光に当たるよう対策注。コナジラミが飛んでいます。週1回消毒を行いコナジラミ対策をしています。

①第4 C ②大玉トマト品種比較試験

③2025/8/18 ④2026/6月

大玉トマト抑制長期作(年1作)		
【1/21 環境状況】 — 温度 — 冷却設定値 — 暖房設定値 		

7月28日播種、8月19日定植。
今年度も20品種の栽培を行っています。
「耐裂果性」「短節間」「バランス型」「玉肥大」の4テーマで栽培中。給液EC2.4、晴天時株あたり1400ccほどで管理を行っています。

現在、13～15段が開花中。コナジラミが増えてるので、気門封鎖剤やフロメトキン剤の散布を行いました。

①第4 D ②バラエティ品種比較試験

③2025/8/19 ④2026/4月末

バラエティトマト		
7月28日に播種 8月19日に定植を行いました。今作も品種比較試験を行っています。 葉面散布によって草勢は良好です。収量も増加傾向にあります。品種によっては通常より大玉で収穫がで来ています。一部品種はスタミナ切れが出ていますので、葉面散布等でカバーしていく予定です。コナジラミの発生は少ない状態をキープしていますので、薬剤散布は引き続き行っていく予定です。		

①第4 E ②イチゴ栽培試験

③2025/9/26 ④2026/5月末

イチゴ		
9/26、10/1に定植。品種比較、クラウン温度制御、重量灌水制御の試験を実施中。 EC0.7、給液200mlで管理。 継続的にハチやハナアブで受粉しています。 全体的に収穫が始まっています。早いものは二番花が収穫中です。 先月にがく枯れやチップバーンが発生し、カルシウム剤散布や灌水量増やすなど対策を行いました。現在は新葉に出ていない状態です。		

①第4 J ②ココバッゲ養液栽培試験
品種比較試験

③2025/10/14 ④2026/4月末

キュウリ		
【1/20 環境状況】 — 気温 — 鮎差 		

ココバッゲを使った養液栽培での品種比較試験を行っています。今作は10/14日に定植。穂木品種8種、台木品種4種で栽培中です。
年末年始は概ね晴天が多く、収量は順調に伸びています。1月中旬時点でもっと多い品種で反収換算12トン超。
CO2は誠和真呼吸を使い1000ppm程度で施用、それに合わせて、温度管理は夜温15°C、日中27°Cと昨年同時期よりもやや高め。給液ECも3.0程度と高めの管理を行っています。(光合成の増加分だけ、生長を早める狙い)。日射量の最も少ない時期は乗り越えたので、今後はさらに収量が伸びてくると思われます。

①第4 I ②高糖度ミニトマト品種比較試験

③2025/8/15 ④2026/7月頃

高糖度ミニトマト		
【1/20 環境状況】 — 気温 — 鮎差 		

穂木品種6種類・台木品種6種類で高糖度栽培での品種比較試験を行います。
定植は8/15、128穴プラグ苗で定植しました。
11月末までに排液ECは20.0を超えて、ECストレスは十分に掛かっていますが、品種により草勢が強いまのも見られます。糖度も品種により10度を超えるものと、8度程度のものまで差が見られます(概ね草勢に比例)。
換気設備は簡易で、ミストもないハウスですので、あまり精密な環境コントロールはしていませんが、調子は良さそう。今後は日射量の増加に合わせて灌水量を増やし、給液ECは現状4.5程度から徐々に下げていきます。



豊かさ実る、タネを。
トヨタネ株式会社

研究農場 TEL (0532) 41-2007

愛知県豊橋市東高田町371 FAX(0532)41-2015

URL <https://www.toyotane.co.jp/>

E-mail info@toyotane.co.jp

① 第6 ② キャベツ品種比較試験

③ 2025/8月～ ④ 2026/春

キャベツ		
冬系キャベツ 5作型 ①7/18播種 10月収穫 ②7/28播種 11月収穫 ③8/8播種 12-1月収穫 ④8/20播種 2-3月収穫 ⑤8/25播種 3-4月収穫 春系キャベツ 2作型 ①8/22播種 年明け収穫 ②8/27播種 年明け収穫		

① 第3 M ② アスパラガス枠板式高畠栽培試験

③ 2023/6/2定植 ④ 周年

アスパラガス		

① 第8 ② 『持続可能な施設園芸』実証試験

③ 2025/8/22 ④ 2026/7月末

大玉トマト		
7月21日に播種、8月22日に定植を行いました。 穂木はかれんを使用し、台木はアーノルドやカイゼル等、強勢品種を5種類栽培しています。 草勢としては良好です。LEDライトと天敵資材を用いて、害虫防除を行っています。葉かきをこまめに行い、着色を少しでも早くするようにしています。収穫段数は8段程度です。葉面散布剤を使用しながら、草勢管理をしていきます。		

① 第2 ② ブロッコリー

③ 2025/8月～ ④ 2026/春

ブロッコリー		
1作目 8月11日播種 9月3日定植 2作目 8月16日播種 9月10日定植 3作目 8月20日播種 9月16日定植 4作目 8月25日播種 9月20日定植 5作目 9月29日播種 9月25日定植 6作目 9月10日播種 10月5日定植 7作目 9月19日播種 10月15日定植 春作① 12月15日播種 1月下旬定植予定 春作② 1月13日播種		

① 施設栽培 ② バコトップ放飼防除試験

バコトップ		
今作も、昨年度に引き続き、タバコカスマカメ(商品名:バコトップ)の放飼を行っております。 キュウリでは、大きな問題もなく栽培中です。 トマトでは、一部でコナジラミが増えていることから、気門封鎖剤や吸汁阻害剤などを散布しています。先月記しました、クレオメのうどん粉病については、ポリオキシン複合体剤の散布により、落ち着いています。		

① 第7 ② 産直野菜

③ 2025/10～ ④ 2026/初春

産直野菜		
根菜類。葉菜類とともに見ごろを迎えてます。 3月上旬～中旬までの栽培を予定しています。 皆様のお越しをお待ちしております。		



豊かさ実る、タネを。
トヨタネ株式会社

研究農場 TEL (0532) 41-2007

愛知県豊橋市東高田町371 FAX(0532)41-2015

URL <https://www.toyotane.co.jp/>

E-mail info@toyotane.co.jp